TOHO GIRLS' 2024

桐朋女子の
グローバル教育

帰国生教育

GLOBAL EDUCATION

ー 桐朋女子のグローバル教育 ー

学校法人 桐朋学園
桐朋女子中・高等学校
国際教育センター

◀ 裏面から見るとRETURNEES' EDUCATION編！

桐朋女子のグローバル教育

日常生活の隅々までボーダーレス化が進んだ現在、国籍や言語、文化や価値観が異なる人々が日々接し、目的達成のために協働することは、もはや当たり前のことになりました。私たちが暮らす東京も例外ではありません。
互いの違いを認めた上で粘り強く相互理解を図り、時には言語を駆使して相手を説得する、真のコミュニケーション能力を身につけることが必要です。
27カ国からの帰国生を含む多様な背景を持つ生徒たちが学ぶ本校は、グローバル時代に求められるスキルを育む多彩なプログラムを展開しています。

国際教育センターは、本校が推進する「デュアル・ランゲージ・プログラム（DLP）」の3つの柱の1つ「高度な英語発信の実践」を担当します。多彩な課外プログラムに参加し、授業で身につけた英語を駆使する経験を数多く積んでいくことで、生徒は英語を使っての発信力やプレゼンテーションのスキルを着実に高めていきます。

〈デュアル・ランゲージ・プログラム（DLP）の3つの柱〉

ことばの力の育成
～言語を道具（ツール）として用い、思考・発信する力を育成します～

世界を読み解く力の育成
～分析能力を活用し、問題解決能力を養う教科横断型の「DLP特別講座」を設置します～

高度な英語発信の実践
～発信型英語力を強化し、文化を超えたコミュニケーション能力を育成します～

高大連携協定を結んでいる電通大の留学生を招いてのDLP異文化理解講座

本校を巣立つ「グローバル時代を創るリーダー」

「違いを超えて、繋がる力」を持ち
「異なる文化的背景を持つ人に共感し、協働できる」人

普段は話す機会のないような国の留学生と、その日のテレビニュース等について話すことができ、とても楽しかった。

I.S.C.（異文化サマーキャンプ）

“失敗しても大丈夫”という空気のおかげで、英語で話すことが楽しい。

英会話教室

オーストラリアでの現地校体験。帰路にはシンガポールで文化の多様性に触れます。将来の進路を考える上で色々なヒントがもらえそうです。

豪州・シンガポール研修

豪州・シンガポール研修
［夏休み］

将来海外で活躍するためにコミュニケーション能力を向上させ、人間的にも成長したい。

ニュージーランド・ターム留学プログラム

ニュージーランド・ターム留学プログラム
［7月中旬～9月下旬］

A ブロック

I.S.C.（異文化サマーキャンプ）

英会話教室［放課後］ ※中学1年・2年は参加条件あり ※帰国生対象の「フランス語会話教室」「ドイツ語会話教室」も併設

B ブロック

C ブロック

中1	中2	中3	高1	高2	高3

高度な英語発信の実践

英会話教室

放課後の時間を使ったプログラムです。会話を中心とした授業ですが、テキストを活用することで英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）を効果的に伸ばしていきます。英検対策も意識し、二次試験に向けての練習も取り入れます。

※中学1年・2年は参加条件あり
※帰国生対象の「フランス語会話教室」「ドイツ語会話教室」も設置されています。

I.S.C.（異文化サマーキャンプ）

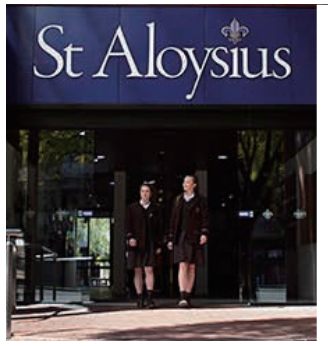
夏休み中に実施される宿泊型集中講座です。英語でのプレゼンテーションのスキルを身につけ、日本の大学で学んでいる留学生と寝食を共にし、異文化理解を深めます。

ニュージーランド・ターム留学プログラム

本人が希望し学校に許可された生徒は、ニュージーランドの高校に1学期間（1ターム）留学することが可能です。ホームステイをしながら現地の高校生とともに正課の科目を学ぶ経験は、大きな自信につながるはずです。

※高校2年・7月中旬〜9月下旬

豪州・シンガポール研修



オーストラリアのアデレードにホームステイをして名門女子高校St Aloysius Collegeの授業を体験します。同校の卒業生で現地の大学に通っていたり、企業で活躍している方々とのディスカッションも行う予定です。研修の帰路には多民族が共に暮らすシンガポールに立ち寄り、文化の多様性に触れます。

※高校1年夏休み

留学・海外進学希望者カウンセリング

高校在学中に1年間の交換留学を希望する生徒や、卒業後に海外への進学を考える生徒のサポートもしっかり行います。生徒一人ひとりと時間をかけて面談し、生徒の希望進路や性格などをしっかり把握した上でのアドバイスを行います。TOEFLやSATの試験対策についても専任外国人講師が細かく指導します。なお本校は外部団体（UPAS日本事務局）と提携関係を結んでおり、必要に応じて海外大学進学コンサルタントによるコンサルティングを受けることが可能です。

海外協定大学推薦制度（UPAA）

海外大学進学を目指す生徒のために、海外協定大学推薦制度（UPAA）に加入しています。年内（11月〜12月）に合格通知が取得でき、その権利は国内の大学受験の合否発表が終わる3月末まで有効なので、国内大学との併願が可能です。

海外協定大学推薦制度（UPAA）で進学できる大学

イギリス

- University of Glasgow
- University of Bristol
- University of Birmingham
- The University of Nottingham
- University of York
- University of Liverpool
- The University of Sheffield
- Cardiff University
- Durham University
- University of Leeds
- University of East Anglia
- University of Exeter
- Queen's University Belfast
- University of Stirling
- Newcastle University
- The University of Manchester
- Manchester Metropolitan University
- City, University of London

アメリカ

- San Francisco State University
- The University of Utah
- Florida International University
- Gonzaga University
- University of Illinois Chicago
- University of South Carolina
- Arizona State University
- The University of Alabama at Birmingham
- Illinois State University
- Oregon State University
- Suffolk University Boston
- George Mason University
- Saint Louis University
- Drew University
- Hofstra University

オーストラリア

- The University of Sydney
- The University of Adelaide
- The University of Western Australia

（2023年3月1日現在）

TOHO GIRLS' 2024

桐朋女子の
帰国生教育

グローバル教育

RETURNEES' EDUCATION

ー 桐朋女子の帰国生教育 ー

学校法人 桐朋学園
桐朋女子中・高等学校
国際教育センター

◀ 裏面から見るとGLOBAL EDUCATION編！

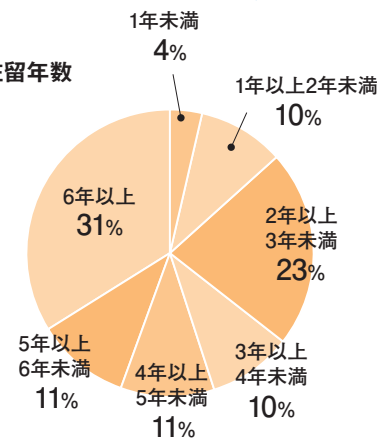
帰国生が「あるがままの自分」でいられる学校です

桐朋女子が初めて帰国生を受け入れたのは1959年。本校では帰国生も他の生徒と同じホームルームで学校生活を送ります。友人同士でも誰が帰国生なのかわからないまま接していることも珍しくありません。帰国生たちはそのような学校生活をとても心地よいものだと思っているようです。このような空気は、これまで長い間大勢の帰国生を積極的に受け入れているうちに自然と醸しだされたものです。帰国生が「あるがままの自分」でいられる学校、それが桐朋女子です。

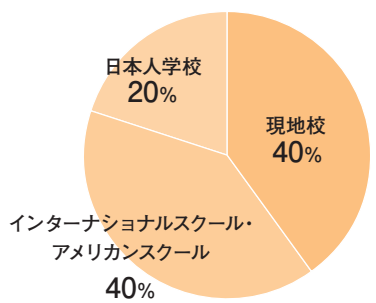
帰国生の受け入れ状況（2023年3月1日現在　帰国生92名）

1 アメリカ
2 イギリス
3 イタリア
4 インド
5 インドネシア
6 オーストラリア
7 オーストリア
8 オランダ
9 カナダ
10 韓国
11 キューバ
12 シンガポール
13 スペイン
14 スリランカ
15 タイ
16 台湾
17 中国
18 デンマーク
19 ドイツ
20 トルコ
21 ニュージーランド
22 パキスタン
23 フィンランド
24 フランス
25 ブラジル
26 ベトナム
27 メキシコ

海外在留年数



最終在籍校



主な四年制大学合格校（2020年～2022年現役生のみ）

【国公立】
お茶の水女子大学
東京外国語大学
東京都立大学

【私立】
早稲田大学
慶應義塾大学
上智大学
明治大学
青山学院大学
立教大学
中央大学
法政大学
学習院大学
東京理科大学
国際基督教大学
近畿大学
北里大学
日本大学
麻布大学
日本獣医生命科学大学
武蔵大学
獨協大学
帝京大学
武蔵野大学
多摩美術大学
女子美術大学
桐朋学園大学
東京電機大学
拓殖大学
神奈川大学
文教大学
立正大学
城西国際大学
東京女子大学
日本女子大学
津田塾大学
昭和女子大学
白百合女子大学
大妻女子大学
共立女子大学
清泉女子大学
東洋英和女学院大学
跡見学園女子大学
恵泉女学園大学

【海外の大学】
Masaryk University

海外生活で得た貴重な体験を伝える作文集　「帰国生の眼」

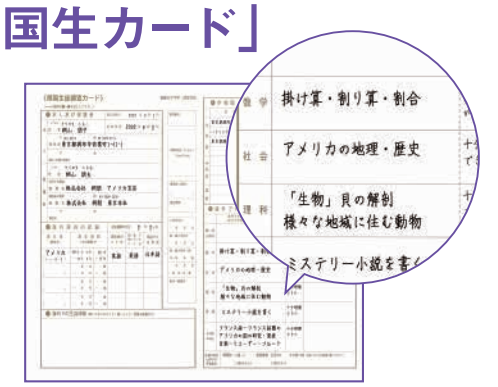
帰国生の皆さんには、海外で経験したことについて作文を書いてもらっています。毎年何人かの作文は学校の機関誌『桐朋教育』にも掲載され、異文化に関心を持つ本校の多くの生徒たちの大事な情報源にもなってきました。「ベルリンの壁崩壊」「9.11同時多発テロ」などをリアルタイムに伝える内容には歴史的価値もあります。これらの作文は年度毎に丁寧に製本され、『帰国生の眼』という金の背文字が押されて図書館に納められています。

受験相談から卒業までを、しっかりサポートします

国際教育センターは、帰国生の受け入れをスムーズにする役割を担っています。安心して入学していただけるよう、不安や疑問にお答えし、入学試験や転入学・編入学試験に関するご案内も丁寧に行います。入学後は、帰国生が生活環境や学習内容の変化に少しずつ馴染んでいけるような様々なサポート体制を整えています。

帰国生一人ひとりのために用意される「帰国生カード」

「帰国生カード」には、海外の滞在記録、生活体験や学習したこと、学校歴などが記入されます。これによって教員は生徒がどのような経験をしてきたのか、学校生活で必要な配慮は何かを知ることができます。入学後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年という節目に、担任は帰国生と面談を行い、生徒のニーズを把握します。この面談の様子もカードに記録されます。カードを利用することで、学習面や生活面での有効な支援をスムーズに行うことが可能となります。



現地校・国際校での授業を思い出す「英語特別授業」

現地校や国際校での学習を通して身につけてきた帰国生の英語力を更に伸ばすために、「英語特別授業」が設置されています。英語の授業の一部を使い、英語圏の学校の同学年レベルの教材を用いながら、本校の外国人専任講師が授業を行います。生徒一人ひとりが身につけてきた英語力にはそれぞれ違いがあることを考慮し、可能な限り個別の課題を出すことで、参加者全員にとって有意義な時間になることを心がけています。この授業への参加は希望制ですが、英語圏の現地校や国際校などで過ごしてきた多くの生徒が参加しています。

学年別使用教材例※

	教材例（Reading）
中1	The Colossus Rises by Peter Larangis
中2	Percy Jackson and the Lightning Thief by Rick Riordan
中3	Graceling by Kristin Cashore
高1	Warcross by Marie Lu
高2	One of Us is Lying by Karen M. McManus
高3	TOEFLやSAT試験のための演習、対策等のアクティビティを行います。これらのアクティビティには、リーディング、ライティング、リスニングそして面接（インタビュー）の4項目が含まれます。

※ここではReadingの教材例を紹介していますが、
授業ではPunctuation&Grammar,Writing Exercises等の授業も行っています。

海外生活では学習しなかった内容を補う「リソ講座」

日本に帰国したばかりの生徒を対象に放課後に補習授業が行われています。「リソ講座」（「リソ」は「リソース」を短くしたものです）と呼ばれる授業で、海外で勉強してこなかった内容を補うのが中心です。生徒によって海外での学習歴もそれぞれ異なりますから、なるべく少人数で授業を行い、それぞれのニーズに合うようにと考えています。多くの生徒が必要とする国語と数学の授業を中心に行っていますが、それ以外の教科で補習が必要な時には臨機応変に対応します。帰国生だけの小さな教室だからこそ、すぐに友達ができる楽しい講座です。

講座内容

	国語	数学
中学	読み書き語彙漢字などの基礎力を確認し、中学から行っている古典授業の補習を行います。	必要に応じて初歩の段階まで戻って学習内容を確認しつつ、普段の授業の補習を行います。
高校	古典の補講を行い授業内容の補強にあてたり、現代文を読みつつ知識と読解力の確認をします。	海外での数学の学習歴を確認しながら、現在の授業で扱っている内容の補習を行います。

海外生活で得たものを、自信に変えて

中学入学試験

A入試

2月1日に実施される「A入試」では、小学校6年間のどこかの時点で海外の学校（含全日制日本人学校）に通った経験のある人すべてを帰国生として認定します。試験内容は日本国内からの受験生と同じ「筆記試験（国語と算数）」「口頭試問」です。国語と算数の筆記試験は、小学校で学ぶ基本的な学力を測ると同時に、その基礎的な学力を使い、ねばり強く取り組む力があるかどうかを測ることを目的としています。口頭試問では、暗記や知識の多寡を問うのではなく、受験生の思考過程（考えるすじみち）を測りたいと考えています。海外生活の中で、新しい言語を通しての学習、友人づきあい、地域社会とのふれあいなど、様々な体験をされた帰国生の皆さんなら心配はありません。
また、海外で日本の学習が十分にできなかった帰国生が不利にならないよう、配慮がなされています。出願時に海外での学校歴をお聞きしたうえで、滞在期間・在籍校の種類・帰国時期などのデータに基づいての試問、審査が行われます。滞在期間が長く、帰国時期が試験間近で、出身校が現地校・国際校である場合などは特に注意して審査します。

生徒募集要項の概要

【募集人員】 約130名（内部進学者含まず）
【試験内容】
①口頭試問
②筆記試験（国語と算数）
【出願資格】
①学齢に相当すること。
②入学後、保護者のもとから通学できること。

帰国生対象特別入試（外国語による作文型）

12月および1月に実施される「帰国生対象特別入試（外国語による作文型）」は、保護者の方の転勤や留学等に伴って海外に1年以上滞在し、小学校4年生以降に帰国された方が対象となる試験です。試験内容は、外国語（英語・フランス語・ドイツ語のいずれか）による作文と海外での学習と生活についての面接です。小学校の高学年まで海外の学校制度のもとで学んでいた帰国生が対象ですが、最終在籍校が全日制日本人学校であっても出願は可能です。
海外の現地校や国際校での学習や、現地での生活にどのように意欲を持って取り組んだかを2種類の面接でしっかりと確認し、外国語による作文と併せて総合的に合否を決定していきます。「日本語での学習経験は少ないけれど、海外では誰にも負けないくらい勉強した」という皆さんにお選びいただければと考えています。

生徒募集要項の概要

【募集人員】各回　約10名
【試験内容】
①外国語による作文：45分間（英語・フランス語・ドイツ語のいずれか）
②面接（受験生のみ）：Ⅰ.海外での学習について Ⅱ.海外の生活について
各およそ20分間　使用言語は日本語
【出願資格】
①学齢に相当すること。
②入学後、保護者のもとから通学できること。
③保護者の転勤・留学に伴って海外に1年以上滞在し、帰国日が小学4年生の4月1日以降であること。

中学入試には他にも・・・

Creative English入試

英語1科型（英検3級程度）の入試です。小学校低学年で帰国した方で、帰国後英語を継続的に学習している方にはお勧めです。

また、論理的思考力＆発想力入試（適性検査型試験）、B入試（2科または4科）もございます。
すべて併願が可能で、いずれの試験も受験していただけます。

過去に出題された外国語（英語）の作文課題例

【中学1年生】
- 住んでいた国についての紹介文
- 海外の学校で友人と力を合わせてやったこと

【中学2年生】
- 海外の生活で驚いたこと
- 海外の学校でお世話になった先生への手紙

【中学3年生】
- 海外生活を経て日本をどう見るようになったか
- 海外での最も素晴らしかった経験

【高校1年生】
- 海外生活で力を入れて取り組んだこと
- 滞在国の生活様式、文化、慣習等の特徴について

【高校2年生】
- 日本人も取り入れたい海外の習慣について
- 海外での最も重要な決断およびその後の人生への影響

【高校3年生】
- 海外の学校で受講した色々な授業について
- 滞在国で直面した困難、それをどのようにして乗り越えたか

※各試験の詳細につきましては、募集要項でご確認ください。
※事前に出願資格の確認が必要な試験があります。本校国際教育センターまでお問い合わせください。

高校入学試験（帰国生対象）

帰国生を対象とした高校入学試験には、本校を第一志望とする人向けの「帰国生推薦入試」（A・・・現地校・国際校出身者用、B・・・全日制日本人学校出身者用）と、他校との併願可能な「帰国生対象高校入試」（A選考・・・外国語による作文型、B選考・・・筆記試験型）の二つのタイプがあります。

生徒募集要項の概要

帰国生対象推薦入学試験A（現地校・国際校出身者用）

【募集人員】若干名
【試験内容】
面接（受験生のみ）：およそ20分間、使用言語は日本語
【出願資格】
①学齢に相当すること。
②入学後、原則として保護者のもとから通学できること。
③保護者の転勤・留学に伴って海外で生活し、日本の中学校に相当する課程（米国系の学校はGrade7～9、英国系はYear8～10）の海外の現地校・国際校に2年以上在籍している者。
④本校を第一志望とし、日本の中学校に相当する課程での学業に熱意を持って取り組んだ者。

帰国生対象推薦入学試験B（全日制日本人学校出身者用）

【募集人員】約15名（日本国内の中学校からの入学者を含む）
【試験内容】
面接（受験生のみ）：およそ20分間、使用言語は日本語
【出願資格】
①入学後、原則として保護者のもとから通学できること。
②保護者の転勤・留学に伴って海外で生活し、海外全日制日本人学校中等部を卒業見込みである者。
③本校を第一志望とし次の基準を満たす者。1. 中学校第3学年2学期における9教科の5段階評定の合計が36以上、または5教科の5段階評定の合計が20以上で、かつすべての教科の評定が3以上である者。なお、上記に準ずる成績で、クラブ活動・生徒会活動・ホームルーム活動・学校行事等において特記するに値する活動をしたと中学校長が判断する者には加算制度がある。2. 中学校第1学年から第3学年2学期までの欠席の合計が20日以内の者。詳細はお問い合わせください。

帰国生対象入学試験A選考（外国語による作文型）

【募集人員】約10名
【試験内容】
①外国語による作文：45分間（英語・フランス語・ドイツ語のいずれか）
②面接（受験生のみ）：Ⅰ.学習について　Ⅱ.生活について
各およそ20分間、使用言語は日本語
【出願資格（A選考B選考共通）】
①学齢に相当すること。
②入学後、原則として保護者のもとから通学できること。
③保護者の転勤・留学等に伴って海外で1年以上生活し、帰国してほぼ1年以内であること。

帰国生対象入学試験B選考（筆記試験型）

【募集人員】約10名
【試験内容】
①筆記試験（国語・数学・英語）：各50分間
②面接（受験生のみ）：およそ20分間、使用言語は日本語
【出願資格（A選考B選考共通）】
①学齢に相当すること。
②入学後、原則として保護者のもとから通学できること。
③保護者の転勤・留学等に伴って海外で1年以上生活し、帰国してほぼ1年以内であること。

A選考の試験内容
現地校や国際校の出身者を想定しています。作文課題は、海外での生活体験に関するものが基本です。評価の観点は、滞在期間中に外国語をどのくらい習得できたかを見ることにありますが、文章の構成力や表現力に重点をおいて、総合的な学習力を判断します。

B選考の試験内容
主として全日制日本人学校出身者を想定しています。試験問題の出題範囲は学習指導要領で定められた領域を超えないようにしています。

転入学・編入学試験（4月・9月・1月入学）

転入学・編入学試験は毎年3回定期的に行います。高校入試同様、受験生が海外での自分の学習スタイルに合わせた受験ができるよう、A、B2通りの試験を用意しています。内容は高校入学試験のA選考・B選考に準じます。

生徒募集要項の概要

【募集人員】
各学年約5名
※実施学年は以下の通り。
- 4月入学（3月実施）
  新中学2年生、新中学3年生、
  新高校2年生、新高校3年生
- 9月入学（7月実施）、
  1月入学（12月実施）
  中学1年生、中学2年生、中学3年生、
  高校1年生、高校2年生

【試験内容】
次のA、Bのうち、いずれかを選択。
A. ①外国語による作文：45分間
（英語・フランス語・ドイツ語のいずれか）
②面接（受験生のみ）：Ⅰ. 学習について
Ⅱ. 生活について各およそ20分間、使用言語は日本語
B. ①筆記試験：各45分間
中学1年生～高校1年生…「国語・数学・英語」
高校2年生、3年生…「国語・英語」もしくは「数学・英語」
②面接（受験生のみ）およそ20分間、使用言語は日本語

【出願資格】
①学齢に相当すること。
②入学後、保護者のもとから通学できること。
③保護者の転勤・留学等に伴って海外に1年以上滞在し、帰国してほぼ1年以内であること。

お問い合わせはこちら
〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1　TEL：03-3300-2111（代表）　https://chuko.toho.ac.jp/
国際教育センター/TEL：03-3300-2232（直通）　FAX：03-3300-4266　E-mail：kokusai@toho.ac.jp

※学校説明会等の詳しい日程は本校ホームページをご覧ください。　※学校見学は随時受けつけています。事前にご予約の上ご来校ください。
※中学A入試、Creative English 入試、論理的思考力＆発想力入試、B入試の過去問題は本校ホームページで公開しています。
※高校B選考の過去問題（一般入試問題と同じ）は本校ホームページ「資料請求」よりお申込みいただけます。